

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ナショナルカット 3000MP

会社情報

会社名 : ナショナル貿易株式会社
住所 : 〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水 2378-3
連絡先 : TEL : 078-941-9341 FAX : 078-941-8105
緊急連絡先 : TEL : 078-941-9341

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 金属加工油剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高圧ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しない	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	
	有機過酸化物	区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	分類できない	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
	健康有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
		急性毒性 (経皮)	分類できない
		急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)		分類できない	
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		分類できない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		分類できない	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない		

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

環境有害性	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系, 腎臓)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (中枢神経系)
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示 (GHS JP)



GHS08

注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: 臓器の障害のおそれ (中枢神経系, 腎臓) (H371)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系) (H373)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)

取扱い後はよく洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

: 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)

保管

: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
精製鉱物油 (高度精製基油)	45 - 55	非開示	非開示	非開示
アニオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非開示
ポリオキシエチレンアルキル(またはアルケニル)エーテル	1.7	非開示	非開示	非開示
油性向上剤	非開示	非開示	非開示	非開示
防腐剤	非開示	非開示	非開示	非開示
トリイソプロパノールアミン	1.7	(2)-310	既存扱い	122-20-3
ベンジルアルコール	< 2	(3)-1011	既存扱い	100-51-6
水	非開示	非開示	非開示	非開示

危険有害成分 : ベンジルアルコール

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要に応じて医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
必要に応じて医師の診察を受ける。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
必要に応じて医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、水噴霧
使ってはならない消火剤 : 情報なし
火災危険性 : 燃焼時：一酸化炭素、二酸化炭素を放出する。
火災時の危険有害性分解生成物 : 不完全燃焼によって、危険な一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒ガスを放出する。
消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
作業所の十分な換気を確保する。
区域より退避させること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
排水溝や河川へ廃棄してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
大量流出した場合は、砂や土で回収する。
浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
二次災害の防止策 : 漏えいした場合、着火源を除去すること。
漏出物質により滑る危険がある。
火花を発生させない工具を使用すること。

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06
改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
火気厳禁。
皮膚および眼との接触を避けること。
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
火気厳禁。
- 技術的対策 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界値			
成分	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ベンジルアルコール	-	【最大許容濃度】25mg/m3	-

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
- 手の保護具 : 適切な耐薬品性手袋を着用する。
- 眼の保護具 : 化学用ゴーグルまたは安全眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具 : 靴を含め帯電防止服の着用を推奨する
- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 淡黄色 ~ 褐色
- 臭い : 特異臭
- pH : 9.1 (10% 水溶液)
- 融点 : ≤ -5 °C
- 凝固点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 引火点 : 水の存在により、引火点は測定不能である。
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 相対密度 : 0.918 (15°C)

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: 水に可溶
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率:	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下では危険な反応は知られていません。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

精製鉱物油 (高度精製基油)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 5000 µl/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	> 5 mg/l/4h
トリイソプロパノールアミン (122-20-3)	
LD50 経口	4730 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 5000 mg/kg
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値 4730mg/kg (PATTY (5th, 2001)) の記載により JIS 分類基準により区分外とした。(国連分類基準では区分 5)
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 値 10000mg/kg (PATTY (5th, 2001)) の記載による。
ベンジルアルコール (100-51-6)	
LD50 経口	1200 mg/kg
LD50 経皮	2000 mg/kg
急性毒性 (経口)	【分類根拠】(1)~(7) より、該当する件数の多い区分 4 とした。【根拠データ】(1) ラットの LD50 : 1,200 mg/kg (JECFA FAS48 (2001))(2) ラットの LD50 : 1,230 mg/kg (SIDS (2004)、環境省リスク評価第 11 巻 (2013)、PATTY (6th, 2012))(3) ラットの LD50 : 1,600 mg/kg (JECFA FAS48 (2001))(4) ラットの LD50 : 1,610 mg/kg (SIDS (2004)、PATTY (6th, 2012))(5) ラットの LD50 : 1,660 mg/kg (環境省リスク評価第 11 巻 (2013))(6) ラットの LD50 : 2,080~2,100 mg/kg (SIDS (2004)、PATTY (6th, 2012)、JECFA FAS48 (2001))(7) ラットの LD50 : 3,100 mg/kg (JECFA FS48 (2001)、PATTY (6th, 2012))

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

急性毒性 (経皮)	【分類根拠】(1) より、区分 4 とした。【根拠データ】(1) ウサギの LD50 : 2,000 mg/kg (SIDS (2004)、環境省リスク評価第 11 巻 (2013))
急性毒性 (吸入:粉末)	【分類根拠】(1) の GLP 準拠データは、4.178 mg/L で死亡例がないことから、区分に該当しないとされた。(1) のデータはエアロゾルによる試験との記載があることから、ミストの基準値を適用し、旧分類を変更した。【根拠データ】(1) ラットの LC50 (4 時間) : > 4.178 mg/L (SIDS (2004))、(OECD TG 403、GLP 準拠) 【参考データ等】(2) ラットの LC50 (8 時間) : > 1,000 ppm (4 時間換算値: 8.1 mg/L) (PATTY (6th, 2012))(3) ラットの LC50 (4 時間) : 8.9 mg/L (SIDS (2004))

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

ナショナルカット 3000MP

pH 9.1 (10% 水溶液)

精製鉱物油 (高度精製基油)

皮膚腐食性／刺激性
ウサギによる複数の皮膚刺激試験において、皮膚刺激性に区分する結果は得られていない。ただし長期間または繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性があるので注意すること。

トリスプロパノールアミン (122-20-3)

皮膚腐食性／刺激性
ウサギの 85%水溶液での試験で紅斑、浮腫、剥離がみられた (BUA Report No. 148 (1993)) との報告より区分 2 とした。

ベンジルアルコール (100-51-6)

皮膚腐食性／刺激性
【分類根拠】(1)、(2) より、区分に該当しないとされた。【根拠データ】(1) OECD TG 404 に準拠したウサギを用いた皮膚刺激性試験で非刺激性 (not irritating) と報告されている (SIDS (2004))。 (2) ウサギの皮膚刺激性試験の 2 報告で、皮膚一次刺激性インデックス (PII 値) は、それぞれ、1.56、1.83 と報告されている (ECETOC TR66 (1995))。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

ナショナルカット 3000MP

pH 9.1 (10% 水溶液)

精製鉱物油 (高度精製基油)

眼に対する重篤な損傷又は刺激性
ウサギによる複数の眼刺激試験において、眼刺激性に区分する結果は得られていない。

トリスプロパノールアミン (122-20-3)

眼に対する重篤な損傷又は刺激性
ウサギの眼に 85%水溶液を導入すると、結膜の重度の発赤と浮腫、虹彩の発赤紅斑、角膜の損傷が見られ、21 日後この症状は無くなった (BUA Report No. 148 (1993)) 。

ベンジルアルコール (100-51-6)

眼に対する重篤な損傷又は刺激性
【分類根拠】(1) より、区分 2 とした。【根拠データ】(1) OECD TG 405 に準拠したウサギを用いた眼刺激性試験で、中等度の刺激性 (moderately irritating) と報告されている (SIDS (2004))。

呼吸器感受性 : 分類できない

皮膚感受性 : 分類できない

精製鉱物油 (高度精製基油)

皮膚感受性
ビューラーテスト(モルモット)により皮膚感受性なしとの結果である。

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

トリソプロパノールアミン (122-20-3)	
皮膚感受性	98 人のボランティアで 1.1%含有するローションを使用したヒトパッチテストで感受性は示さなかった。また 1.1%含有するローションを使用して、25 人の手の裏又は手のひらに 48 時間、5 回、ラウリル硫酸ナトリウムを処置した場所に塗布し、10 日後他の場所に 48 時間閉鎖貼付したが、貼付直後も、24 時間後も反応はなかった。 (BUAReportNo.148(1993)) との記載による。
ベンジルアルコール (100-51-6)	
皮膚感受性	【分類根拠】(1)~(8) のデータはあるが、感受性陽性及び陰性のデータが混在しており、分類できない。【参考データ等】(1) ヒトパッチテストにて低頻度 (0.3%) であるが、陽性の報告がある (HSDB (Access on May 2019))。 (2) 25 人のボランティアを対象として、本物質 10%溶液を 10 日間に 48 時間パッチテストを 5 回行った試験で感受性は示されなかった (PATTY (6th, 2012))。 (3) ヒトにおける非感受性誘導用量 (NESIL) が 5,900 µg/cm ² と報告されており、弱感受性物質 (Weak sensitizer) と結論している (Api et al., 2015, Benzyl alcohol)。 (4) モルモットの感受性試験 (FCA 法、OET 法) で陽性と報告されている (SIDS (2004))。 (5) モルモットの感受性試験 (ドレイズ法、マキシマイゼーション法) で陰性と報告されている (SIDS (2004))。 (6) CBA/Ca マウスを用いたマウス局所リンパ節試験 (LLNA ; 感作濃度: 5%、10%、25%、50%) において EC3 は算出されず、陰性と判定された (DFGOT vol.3 (2018))。 (7) in vitro 感受性試験 (Keratinosens) において陰性と判定されている (DFGOT vol.3 (2018))。 (8) LLNA の結果及び臨床所見等から本物質は感受性物質に該当しないと結論されている (DFGOT vol.3 (2018))。
生殖細胞変異原性	: 分類できない
精製鉱物油 (高度精製基油)	
生殖細胞変異原性	広範囲な変異原性試験 (in vivo 及び in vitro) が実施されているが、大部分の結果から変異原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性なしと判断する。
トリソプロパノールアミン (122-20-3)	
生殖細胞変異原性	体細胞を用いる in vivo 変異原性試験 (マウスの骨髄細胞による小核試験) で陰性 (BUA Report No. 219 (1998)) の記載による。なお、in vitro 変異原性試験 (エームズテスト) でも陰性の報告 (NTP DB (access on 11. 2008)) がある。
ベンジルアルコール (100-51-6)	
生殖細胞変異原性	【分類根拠】(1)、(2) より、専門家判断に従い、ガイダンスにおける分類できないに相当し、区分に該当しないとした。【根拠データ】(1) In vivo では腹腔内投与によるマウス骨髄細胞の小核試験で陰性である (環境省リスク評価第 11 巻 (2013)、SIDS (2004))。 (2) In vitro では細菌の復帰突然変異試験で陰性である。また、マウスリンフォーマ試験及び染色体異常試験では代謝活性化系存在下で陽性だが、極めて高濃度かつ細胞毒性濃度での反応であり、in vitro 小核試験では陰性であった (NTP TR343 (1989)、NTP DB (Access on May 2019)、環境省リスク評価第 11 巻 (2013)、PATTY (6th, 2012)、SIDS (2004)、JECFA FAS48 (2001)、DFGOT vol.3 (2018))。【参考データ等】(3) DFGOT vol.3 (2018) 及び SIDS (2004) では、染色体異常試験陽性の結果は極めて高濃度や細胞毒性を示す濃度で得られたものであり、本物質の遺伝毒性の懸念はないと結論している (DFGOT vol.3 (2018)、SIDS (2004))。
発がん性	: 分類できない

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

精製鉱物油（高度精製基油）	
発がん性	各種動物の皮膚暴露試験から得られた知見により発がん性はなしと判断されている。IARC では高度精製油はグループ 3（ヒトに対して発がん性について分類できない）に分類され、ACGIH でもほぼ同様の分類がなされている。EU による評価では発がん性物質としての分類は適用される必要はない。

トリイソプロパノールアミン（122-20-3）	
発がん性	ラットの混餌投与による 2 年間の試験において、腫瘍発生率はコントロールと変わらなかった（BUA Report No. 148（1993））との報告はあるが、雄のみの試験であり、他の動物種のデータは無く、データ不足で分類できない。

ベンジルアルコール（100-51-6）	
発がん性	【分類根拠】国内外の分類機関による分類結果はない。利用可能なヒトを対象とした報告はない。(1) よりガイダンスの分類できないに相当し、区分に該当しないとした。【根拠データ】(1) ラットおよびマウスに 2 年間強制経口投与した発がん性試験で、両種の雌雄ともに発がん性の証拠なし (no evidence) と結論された (NTP TR343 (1989))。

生殖毒性 : 分類できない

精製鉱物油（高度精製基油）	
生殖毒性	ラットによる発育毒性および生殖毒性試験から得られた知見により、これら毒性を示す結果は得られておらず、生殖毒性なしと判断する。

トリイソプロパノールアミン（122-20-3）	
生殖毒性	妊娠ラットの器官形成期に経口投与した試験で、母獣の摂餌量および体重増加量は減少したが、胎児毒性及び催奇形性は認められなかった（BUA Report No. 219（1998））との報告はあるが、生殖毒性に関する報告は無く、データ不足により分類できない。

ベンジルアルコール（100-51-6）	
生殖毒性	【分類根拠】(1)、(2) より、発生毒性は母動物毒性発現用量で軽微な影響がみられたのみで区分に該当しないが、性機能及び生殖能に関する情報がなく、データ不足のため分類できない。【根拠データ】(1) 雌マウスの妊娠 6～15 日に強制経口投与した発生毒性試験において、母動物毒性（1/50 例の死亡）がみられたが発生影響はみられていない (SIDS (2004)、PATY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 11 巻 (2013))。(2) 雌マウスの妊娠 7～14 日に強制経口投与した発生毒性試験において、母動物毒性（19/50 例の死亡、チアノーゼ、振戦、衰弱、運動失調等）がみられ、児の出生時体重の減少、その後の体重増加抑制がみられた (SIDS (2004)、PATY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 11 巻 (2013))。【参考データ等】(3) 旧分類で引用された「ラットの 4 世代経口投与試験」は本物質ではなく安息香酸 (benzoic acid) のデータである。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ (中枢神経系, 腎臓)

精製鉱物油（高度精製基油）	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	急性試験による各種特定臓器への単回暴露毒性は認められていない。

トリイソプロパノールアミン（122-20-3）	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラット経口投与試験において嗜眠（630mg/kg から 10000mg/kg）が観察さ

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

	<p>れたとの報告がある (BUA Report No. 148 (1993)) ことから、区分 3 (麻酔作用) に該当する。ラット吸入試験 (8 時間) においては、慢性気管支炎が認められているが、投与量が不明である。ウサギ経皮投与試験においては、5 g/kg (85% solution)[換算 ; 4250 mg/kg]の投与量でも毒性は発現しなかったため、区分外に該当するが、他の経路につきデータがないため分類根拠には採用できない。ウサギ経皮投与試験においては、5 g/kg (85% solution)[換算 ; 4250 mg/kg]の投与量でも毒性は発現しなかったため、区分外に該当するが、他の経路につきデータがないため分類根拠には採用できない。以上から、区分 3 (麻酔作用) とした。</p>
--	--

ベンジルアルコール (100-51-6)

<p>特定標的臓器毒性(単回ばく露)</p>	<p>【分類根拠】(1)~(3) より、区分 1 (中枢神経系、腎臓)、区分 3 (麻酔作用) とした。新たな情報源の使用により、旧分類から分類結果を変更した。【根拠データ】(1) 本物質を 34.8%含有する塗膜剥離剤を吸入した 45 歳男性が、意識障害を来して昏睡状態で緊急搬送され、血圧低下、進行性の代謝性アシドーシスと尿細管障害による多尿を示し、急性ベンジルアルコール中毒と診断された (伊藤ら、日救急医学会誌. vol. 29, p.254 (2018))。事故原因となった剥離剤の他の成分 (及び含有量) は、製品の SDS には水 (50%以上)、リン酸 (1~5%)、ナフタリン及び過酸化水素 (いずれも 1%未満) と記載されており、上記の影響は本物質によると考えられる。(2) 本物質は、皮膚に塗布、又は 1%溶液の皮下注射により局所麻酔に使用された経緯がある (環境省リスク評価第 11 巻 (2013))。(3) ラットの単回経口投与試験において、抑うつ状態、興奮、昏睡がみられた。影響がみられた用量の記載はないが、LD50 値である 1,230 mg/kg 付近でみられたとすると、区分 2 に相当する (SIDS (2004))。</p>
------------------------	---

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)

精製鉱物油 (高度精製基油)

<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>経皮及び吸入投与による 4 週間から 2 年間の反復毒性試験を行ったが全身に対する影響は確認されなかった。</p>
------------------------	--

トリソプロパノールアミン (122-20-3)

<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>ラット経口投与試験 (30 日) において、0.26 g/kg bw/d[90 日換算 ; 86.7 mg/kg bw/d]の投与量で肝臓、腎臓、脾臓、睾丸に組織病理学的変化が認められており区分 2 に該当する可能性があるが、組織病理学的変化の詳細が不明である。また、ラット経口投与試験 (2 週間) において、①雄で 0.3g/kg bw/d[90 日換算 ; 46.7 mg/kg bw/d]以上、雌で 0.6g/kg bw/d[90 日換算 ; 93.3 mg/kg bw/d]以上の投与量で血漿グルコース濃度の低下が認められ、②雄で 0.6g/kg bw/d 以上、雌で 2.0g/kg bw/d[90 日換算 ; 311.1 mg/kg bw/d]の投与量で腎臓重量の有意な増加が認められ、③最大投与量である 2.0 g/kg bw/d では雌雄において体重増加抑制 (雌においては摂餌量の有意な低下) が認められているが、いずれも毒性影響には該当しない。以上から、分類できないとした。</p>
------------------------	---

ベンジルアルコール (100-51-6)

<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>【分類根拠】(1)、(2) より、ヒト小児への静脈内投与により中枢神経系への影響がみられていることから、区分 1 (中枢神経系) とした。【根拠データ】(1) 本物質は、血管内カテーテル洗浄液の保存剤として使用され、低体重児に神経系の阻害及び致死を引き起こした (PATTY (6th, 2012))。(2) 本物質 0.9%を含有する液体の静脈内投与により、低出生体重児に中毒症状 (あえぎ呼吸、アシドーシス、神経機能低下等) が発現した (PATTY (6th, 2012))。【参考データ等】(3) ラットあるいはマウスに 50~800 mg/kg/day を 13 週間経口投与した結果、800 mg/kg/day (区分 2 超) で神経毒性の兆候 (よるめき歩行、努力性呼吸、嗜</p>
------------------------	--

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

	眠) がみられ、さらにラットでは、脳、胸腺、骨格筋、腎臓の病変等がみられた (NTP TR343 (1989)、SIDS (2004)、PATTY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 11 巻 (2013))。(4) ラットに 200、400 mg/kg/day、マウスに 100、200 mg/kg/day を 2 年間経口投与した結果、投与による非腫瘍性病変の発生はみられなかった (NTP TR343 (1989))。
--	--

誤えん有害性 : 分類できない

精製鉍物油 (高度精製基油)

誤えん有害性	誤嚥有害性;区分 1(40℃動粘度 ; 20.5mm ² /s 以下の場合)
--------	---

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない

精製鉍物油 (高度精製基油)

水生環境有害性 短期 (急性)	水にほとんど溶解しないため、水生生物への汚損を生じる。 96h LC50 > 100mg/L(魚類、ファットヘッドミノー) NOEL > 100mg/L(魚類、ファットヘッドミノー、14 日間) 48h EC50 > 10000mg/L(甲殻類、オオミジンコ) NOEL > 10mg/L(甲殻類、オオミジンコ、21 日間) NOEL > 100mg/L(藻類、セレナストラム)
水生環境有害性 長期 (慢性)	生分解性試験結果 ; 31%(28 日間)本質的生分解性を有するが、易生分解性ではない。 一般的には水に対して浮く性質がある。 log Kow=3 以上と推測され、地表で漏出した油は土壤に吸着されることにより地下水へ流出することは考えにくい。
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (ファットヘッドミノー)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 10000 mg/l (オオミジンコ)
NOEC 魚 慢性	> 100 mg/l (ファットヘッドミノー、14 日間)

トリソプロパノールアミン (122-20-3)

水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (セネデスムス) の 72 時間 EC50 = 35 mg/L (BUA, 1993)から、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性が区分 3 であり、急速分解性がない (難分解性、BOD : 3.4% (既存点検, 1978)) ことから、区分 3 とした。
ErC50 藻類	35 mg/l
BCF - 魚 [1]	(0,57 dimensionless)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.015 (at 23 °C)

ベンジルアルコール (100-51-6)

水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ブルーギル) 96 時間 LC50 = 10 mg/L (環境省リスク評価第 11 巻, 2013) であることから、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (BOD による分解度 : 94% (既存点検, 1991))、甲殻類(オオミジンコ) の 21 日間 NOEC = 51 mg/L (環境庁生態影響試験, 1997、環境省リスク評価第 11 巻, 2013)であることから、区分に該当しないとなる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、魚類 (ブルーギル) の 96 時間 LC50 = 10

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06
改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

	mg/L (環境省リスク評価第 11 巻, 2013) であるが、急速分解性があり (BOD による分解度: 94% (既存点検, 1991))、生物蓄積性が低いと推定される (log Kow = 1.1 (PHYSPROP Database, 2019)) ことから、区分に該当しないとされる。以上の結果から、区分に該当しないとされた。
LC50 - 魚 [1]	10 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	51 mg/l

残留性・分解性

ナショナルカット 3000MP	
残留性・分解性	データなし
精製鉱物油 (高度精製基油)	
急速分解性でない	
トリイソプロパノールアミン (122-20-3)	
急速分解性でない	

生体蓄積性

ナショナルカット 3000MP	
生体蓄積性	データなし
トリイソプロパノールアミン (122-20-3)	
BCF - 魚 [1]	(0,57 dimensionless)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.015 (at 23 °C)

土壤中の移動性

ナショナルカット 3000MP	
土壤中の移動性	データなし
トリイソプロパノールアミン (122-20-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.015 (at 23 °C)

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
 残余廃棄物 : 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。
 汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。
 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。

14. 輸送上の注意

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

国際規制

国連勧告(UN RTDG)	海上輸送(IMDG)	航空輸送(IATA)
国連番号		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
国連正式品名		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
輸送危険物分類		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
容器等級		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
環境有害性		
規制されていない	規制されていない	規制されていない

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

陸上規制 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法等に定められている運送方法に従うこと。

緊急時応急措置指針(ERG)番号 : 171

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項)

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 2 号別表第 9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)
ベンジルアルコール (政令番号 : 530 の 2) (2%未満)
鉱油 (政令番号 : 168) (45 ~ 55%)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法分類 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)(令和 5 年 4 月改正) : 【改正後 令和 5 年 4 月 1 日以降】
第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)

トリソプロパノールアミン (管理番号 : 683) (1.7%)
アルファーアルキル-オメガ-ヒドロキシポリ (オキシエタン-1, 2-ジイル) (アルキル基の炭素数が 1 6 から 1 8 までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が 1, 0 0 0 未満のものに限る。) 及びアルファーアルケニル-オメガ-ヒドロキシポリ (オキシエタン-1, 2-ジイル) (アルケニル基の炭素数が 1 6 から 1 8 までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が 1, 0 0 0 未満のものに限る。) 並びにこれらの混合物 (管理番号 : 578) (1.7%)

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

海洋汚染防止法 : ばら積み運送 : 未査定物質、個品運送 ; 該当しない

政府インベントリリスト

アメリカ(TSCA) : 収載なし

カナダ(DSL) : 収載なし

ナショナルカット 3000MP

ナショナル貿易株式会社

作成日:2017/12/06

改訂日:2023/04/01

バージョン: 2.0

オーストラリア(AICS)	:	収載なし
韓国(KECL)	:	収載あり
中国(IECSC)	:	収載あり
ニュージーランド(NZIoC)	:	収載なし
フィリピン(PICCS)	:	収載あり
台湾(TCSI)	:	収載あり
輸出統計品目番号(HS コード)	:	3403.19-000
HS コードについて	:	参考情報として HS コードを記載していますが、解釈・用途等により他コードを適用可能な場合があります。輸出の際には、輸出者の責任において選択した上で税関の指示に従い適切に対応して下さい。

16. その他の情報

連絡先	:	ナショナル貿易株式会社 電話番号 ; 078-941-9341 Fax 番号 ; 078-941-8105 E-mail ; gyomu@ntc-jp.com
参考文献	:	GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z7253:2019)。 GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)。 事業者向け GHS 分類ガイダンス (経済産業省)。 日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン。 製品評価技術基盤機構(NITE) GHS 分類データ。 界面活性剤の GHS 対応 SDS 作成ガイド (日本界面活性剤工業会)
その他の情報	:	EU REACH 登録については弊社営業担当にお問い合わせ願います。 韓国に輸入する際は化学物質の登録及び評価に関する法律(K-REACH)に基づき登録が必要になる場合があります。 詳しくは弊社営業担当にお問合せ願います。 台湾インベントリー(TCSI)登録あるいは準拠物質を台湾に輸入する際に 100 kg/年の量を超える場合 (混合物の場合は各成分毎の量) は輸入者による第 1 段階登録が必要です。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではありません。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いません。当該安全データシートは本製品にのみ使用するべきであり、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがあります。